

九州民家塾のご案内

八女手すき和紙体験と八女福島の街並み散策

主催：NPO日本民家再生協会（JMRA）九州・沖縄地区事務局

【日時】 2013年 7月28日（日）

10:00 ～ 16:00

【集合場所】 『八女伝統工芸館』駐車場

福岡県八女市本町 2-123-2

【集合時間】 10:00

【参加費】 会員：1,500円（昼食込）

会員外：2,000円（昼食込）

小学生以下：1,000円（昼食込）

※和紙体験：別途 600円

【参加申込先】

FAX・E-mailにてお申し込みください。

JMRA 九州・沖縄地区事務局

FAX： 0946-21-5077

E-mail： minka2012_jmraqr@yahoo.co.jp

TEL： 080-3952-0646（当日連絡先）

（E-mailの方は、下記申し込み内容を送信してください）

【参加申込締切】7月 18日（木）

【スケジュール】

10:00～ 『八女伝統工芸館』駐車場集合

10:30～ 八女手すき和紙資料館にて、手すき和紙体験（20名限定：先着順とさせていただきます）

八女手すき和紙は、九州で最も古く400年の歴史をもちます。大きな特徴は、繊維の長い楮を用いるため、引きが強く腰が強いことで、各種広い分野に愛用されています。八女伝統工芸館併設の手すき和紙の資料館で手すき和紙の制作が体験できます。葉書（4枚）、名刺（10枚）、色紙（1枚）、短冊（2枚）の中から選べます。和紙体験をされない方は、伝統工芸館、和紙資料館を見学していただきます。

12:00～ 昼食 併設の講義室で特製民家塾弁当

13:30～ 八女福島の街並み散策

八女市本町には中世福島城下町に起源を有し、廃城跡は在方町として栄え、2002年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された街並みが残されています。耐久性に優れた瓦葺塗込造（居蔵と称されます）の町家の建設を可能にしたのは和紙、仏壇、提灯、茶といった特産品の生産に支えられた経済成長でした。今も伝統工芸・職人の街として技術が受け継がれ、工房・店舗が多いのも街並みの特長です。この街並みを地元のボランティアガイドさんの説明により歩きます。

15:00～ 手すき和紙工房見学（車で移動）

前回の山鹿での民家塾で話題となった山鹿灯籠。この山鹿灯籠に使う八女和紙を作っている職人さんが近くに工房を構えていらっしゃいます。和紙漉きは七月前半で終わってしまったそうですが、お話をうかがうことができます。

16:00～ 現地解散



八女福島のまちなみ

民家塾に参加を申し込みます（FAX 0946-21-5077）

■ 氏名 _____（会員・会員外）

■ 参加人数 _____人 _____（会員 _____人・会員外 _____人）

■ 連絡先（電話番号） _____

和紙体験 _____する _____しない _____（丸をつけてください）

